

課題研究プロジェクトC

「社会の形成者としての資質能力を育む特別活動の定量的研究 —「積極的な生徒指導」の機能に着目して—

課題研究プロジェクトの概要：

目的

学級活動・ホームルーム活動、児童会活動・生徒会活動、クラブ活動、学校行事での活動を通して、児童・生徒には「社会的なリテラシー」が育まれている。「生徒指導提要」では、言語、情報、学習、対人関係、社会生活等のリテラシーを包括的・総合的な意味で「社会的なリテラシー」としているが、その中でも対人関係及び社会生活のリテラシーは特別活動を基盤として形成されるのであり、これが発達促進的、開発的な生徒指導となっている。

そこで、本課題研究では、特別活動のねらいが達成されることによって、発達促進的、開発的な指導、つまり積極的な生徒指導の機能が発揮されることを、調査票を伴う実証研究として明らかにしていく。

課題研究プロジェクトの成果目標：

学校教育には、学習指導と生徒指導の2つの機能があげられるが、特別活動と生徒指導のねらいには重なる点が多い。それゆえに特別活動の目標を実現することによって、生徒指導の充実が図られ、生徒指導上の課題を減少させることが期待できる。本研究では、この特別活動と生徒指導との関係を、特別活動で育つ能力(社会的なリテラシー)を手がかりとして、調査票による研究により実証していくことを目標とする。

課題研究プロジェクトのおおよそのタイムスケジュール：

できるだけ研究推進委員会開催日と同日の午前または午後に研究会を開催したい

12月、2月、5月、8月

研究会の頻度：年4回程度

研究会の開催地として頻度が高いと思われる地方名：大阪